

## コミュニティ福祉学部入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

### 入学者に求める知識・技能・態度・体験

#### ・知識

コミュニティ福祉学の学びには社会の成り立ち、背景、構造と人間に対する理解と知識が必要となります。専門的なことは大学入学してからの学びとなりますが、少なくとも近代の歴史、現代の社会問題などの知識は必要不可欠のものといえます。日頃から新聞や社会評論的な雑誌等を読んでおく程度の努力と、そこから得られる知識を一般的な常識として持っていてもらう必要があります。「英語」については、高等学校段階で、読む・書く・話す・聞くの基礎的能力を十分に身につけておくことが望まれます。

#### ・技能

スタディ・スキルは大学での学びにおいて極めて重要な技能といえます。また現代では ICT (Information and Communication Technology) を使いこなすことが必然的に求められます。高度なことは入学後の技能の取得となりますが、ワード、エクセル、メールの送受信等ある程度コンピュータの基本ソフトを使えることが望まれます。

#### ・態度

コミュニティ福祉学は極めて倫理性の高い専門領域です。それは人の尊厳を認め大切にすることから始まります。それは決して人を憐れむ心ではありません。人と社会に対しての理解と相手の立場と心を理解しようとする謙虚な姿勢です。常に自らを内省する態度を保ち、他者を尊重する姿勢を持ち続けられることを期待します。

地球および地域社会の一市民として、高い公共性と倫理性を持ち、異なる文化・貧困・ジェンダー・しょうがい・子ども・高齢者等に対して、自らに内在している偏見に気づいて修正することができ、またこれらの人を排除することなく、異なる価値観を持った人たちと協働(社会的結束)しようとする人を求めます。

#### ・体験

入学前にボランティア活動などを経験することは、入学後の学びにとっても意味があります。それは人を支援することの意味とそれが自分にとっての大きな学びになることに気づくからです。また「人と社会との関わり」、「人と人との関係の原理」などについても理解が深まります。それは学部での学びの基本的な心構えを入学前に自然に身につける有効な方法となります。

### 入試種別の目的

#### 1. 一般入試

本学ならびにコミュニティ福祉学部の教育研究上の目的(立教大学学則第1章第1条2項別表7参照。以降同様。)を理解し、コミュニティ福祉学部での教育を志望する者に対して、高等学校における教科・科目の学習の達成度を測り、選抜することを目的とする。

## 2. 大学入学共通テスト利用入試

本学ならびにコミュニティ福祉学部の教育研究上の目的を理解し、コミュニティ福祉学部での教育を志望する者に対して、高等学校における教科・科目の学習の達成度を、大学入学共通テストを利用して測定し、選抜することを目的とする。

## 3. 自由選抜入試

志望する学部に関連した高い能力をもつ者、あるいは学業以外の諸活動の分野に秀でた個性をもつ者で、本学ならびにコミュニティ福祉学部の教育研究上の目的を理解し、そこで学びたいという熱意を提出書類及び面接等の内容により多面的・総合的に評価し、選抜することを目的とする。

## 4. アスリート選抜入試

スポーツ競技の実績が優秀であるだけでなく、人格的にも優れ学業に対する高い意欲をもつ者を、競技実績や提出書類、小論文、面接等の内容により多面的・総合的に評価し、選抜することを目的とする。

## 5. 外国人留学生入試

国際交流の一環として、交換留学制度とは別に、本学での教育を希望する外国人留学生を選抜することを目的とする。

### 書類選考による募集制度

外国人留学生を、提出書類および日本留学試験の成績等の内容により、多面的・総合的に評価する。

## 6. 指定校推薦入学

コミュニティ福祉学部が自らの教育研究上の目的に基づいて、特色ある教育を行っている高等学校を指定したうえで、コミュニティ福祉学部の教育研究上の目的を理解し、コミュニティ福祉学部が定める一定の学力を有する者を高等学校長などが推薦しコミュニティ福祉学部が受け入れることを目的とする。

## 7. 関係校推薦入学

日本聖公会に所属する高等学校を対象として、本学ならびにコミュニティ福祉学部の教育目的を理解し、キリスト教に基づく教育を継続して学びたいという意欲のある者を高等学校長が推薦し本学が受け入れることを目的とする。

## 8. 学校長推薦による入学 (NEXUS)

NEXUS プログラム日本語集中履修期間のカリキュラム内容ならびに2学期目以降に接続するコミュニティ福祉学部カリキュラムにおける教育研究上の目的に基づいて、特色ある教育や言語教育を行っている外国の高等学校を指定したうえで、次世代に繋がるグローバルな協働共生について日本語コミュニケーションを通じ実践する姿勢を持ち、かつコミュニティ福祉学部の教育研究上の目的を理解し本学が定める一定の学力を有する者を当該の高等学校長が推薦しコミュニティ福祉学部が受け入れることを目的とする。

## 入学前学習

新聞から福祉にかかわる記事を常に意識して探し丁寧に読んでください。そして社会のこと、家族のこと、人間のことなどについての興味を持ち、理解をすることを心がけてください。それが福祉を学ぶモチベーションを高めることに繋がります。

REO (Rikkyo English Online) を利用した英語学習を課しています。また、指定校推薦入学予定者・関係校推薦入学予定者・アスリート選抜入学予定者・自由選抜入学予定者などに対しては、推薦図書に関する読書感想文の提出を求めています。